

穿刺針メディキット社製ハッピーキャスSVの導入報告

医療法人社団スマイル 博愛クリニック¹⁾ 医療法人社団スマイル クレア焼山クリニック²⁾

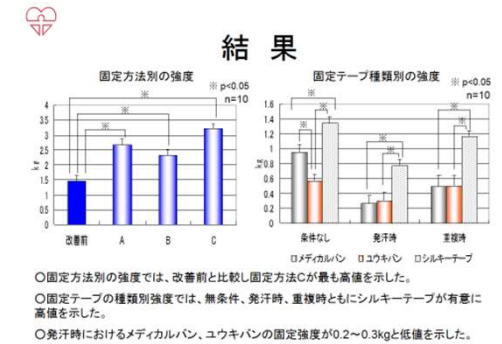
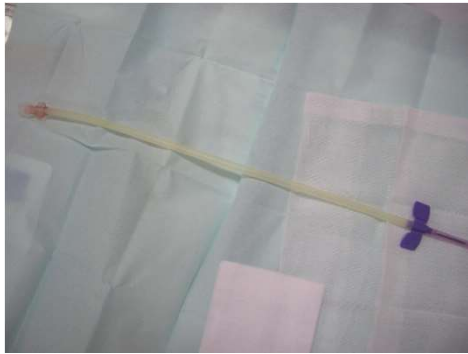
玉置貴志¹⁾ 三宅良尚¹⁾ 吉田賢治¹⁾ 藤井恵子¹⁾ 桐林慶²⁾ 高杉敬久¹⁾

経緯・目的

当院では90床の同時透析に対し、透析終了抜針後に生食パックを用いた自作の針受けに回収する事で、慣れ親しんだ翼状針(金属針)を使用し、針刺し事故を防ぎ長年透析を行ってきた。

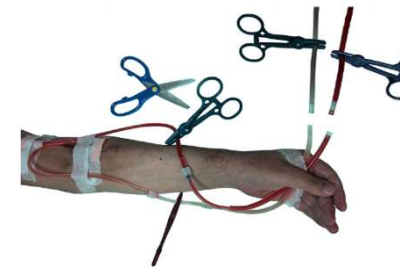
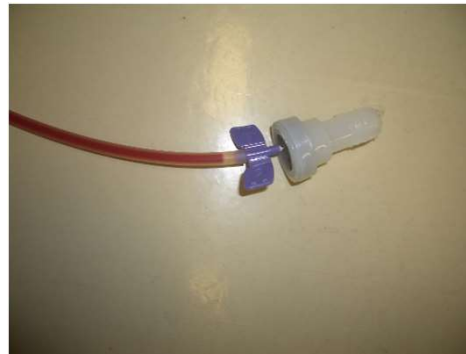
が、2012年より当院の逆濾過使用コンソールへの変更に伴い、生食パック使用回収量が減る事から、針刺し事故防止(安全)の必要性が生じたため、いろいろと対策を検討した結果、内筒収納機能付きのメディキット社製ハッピーキャスSV (以下SV)へ穿刺針を変更した。

そこで、SV使用感のアンケートを行ったので報告する。



- ・翼状針は構造が単純で操作が簡便。
- ・スタッフも穿刺に慣れている。

- ・翼状針は翼の部分にテープ固定ができる。
- ・テープの種類による固定強度を調査し使用。
- ・少ない枚数で抜針を防いでいた。

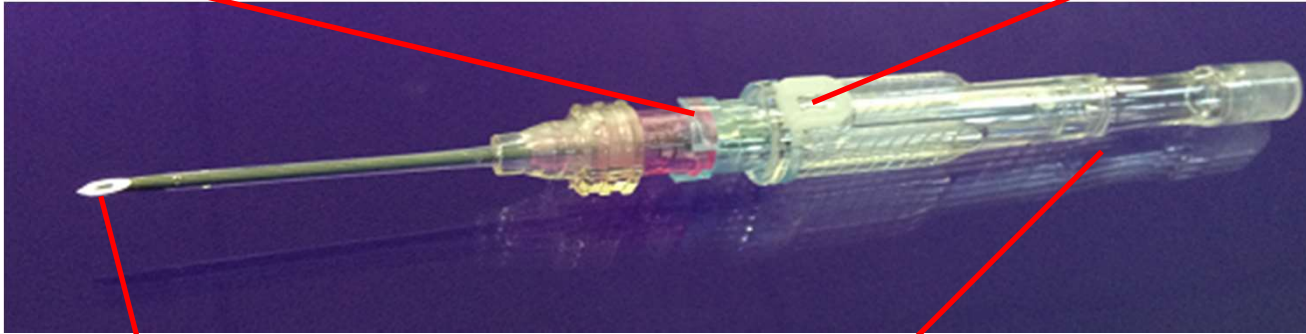


- ・危険を要する**金属針の回収**は、1997年12月から15年間、生食バックのゴム栓を針受けに使用。
- ・針刺し事故を防いでいた。

- ・災害時の緊急離脱は、各ベッドへ離脱セットを常設し、訓練を毎年行っていた。

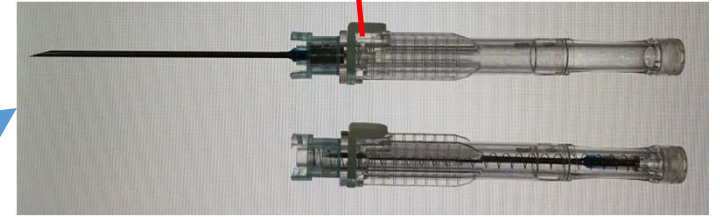
SVの特徴紹介

ルアーロック: 穿刺時のカテーテルずれを抑え、不意の穿刺ミスを防ぐ



持手/安全機構: 持ちやすく、上下左右、どの方向でも指先にジャストフィットする形状

ボタンスイッチ: 安全機構の作動スイッチ
手技中の誤作動防止機構を備えている



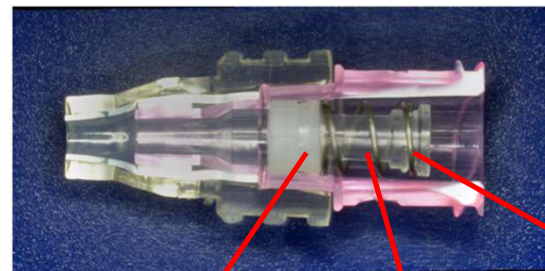
バックカット小孔針



切れの良さ、コアリング防止

止血弁 (圧迫止血補助機構)

コイルがプッシャーを押し戻すことで止血弁が閉じ、自動的に止血する



止血弁

コイル

プッシャー

安全を目的に採用されたSVであるが、採用当初からスタッフよりいろいろな声が聞かれ、トラブルも下記の様に発生した。

スタッフの声

- ・針が長くなった ・持ち方が変わった
- ・ハブが短いうえに回路と接続しにくい
- ・テープ固定強度が弱く、枚数が増えた

トラブル

- ・逆止弁動作不良による出血
- ・採血ホルダーと不適合で故障
- ・内筒収納機能不良
- ・チューブの長さ不足
- ・部品の脱落

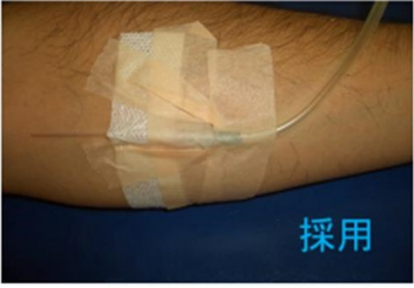


それらの問題を下記の様に対応し、現在の使用に至っている。

対策1

当院対応

- ・テープ固定の変更(1人9枚)
- SVでの**抜針事故発生無し**

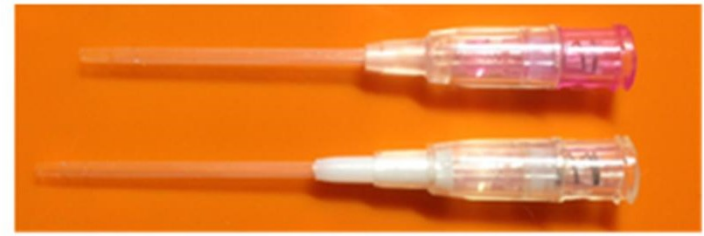


20種類近くの方法を試した
パネ秤を使用し抜けるまでの力を測定

対策2

メディキットへ依頼

- ・ハブ形状、長さの変更
- ・不具合製品回収と改良依頼



対策4

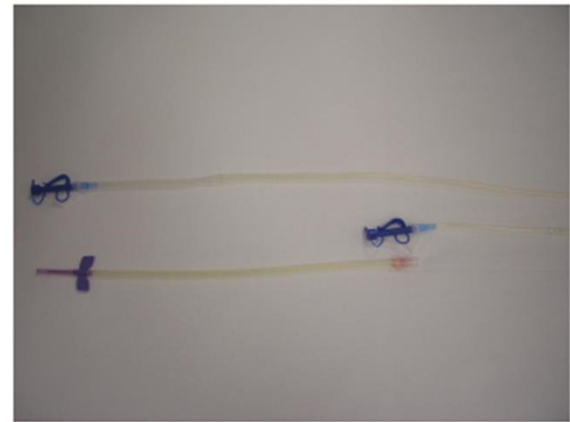
血液回路メーカーへ依頼

- ・回路長の延長

対策3

採血ホルダーメーカーへ依頼

- ・コネクター変更



スタッフアンケートによる針の現状評価

近年の内シャント穿刺針は、穿刺時の操作性、固定のし易さ、逆流防止機能、抜針後の針刺し事故防止機能など様々な面で改良が加えられている。

針刺し事故防止(安全)を目的に、針を変更し約1年が経過し、SVをどう感じているか翼状針と比較した使用感のアンケートを行った。

対象・方法

対象：当院透析室スタッフ20名

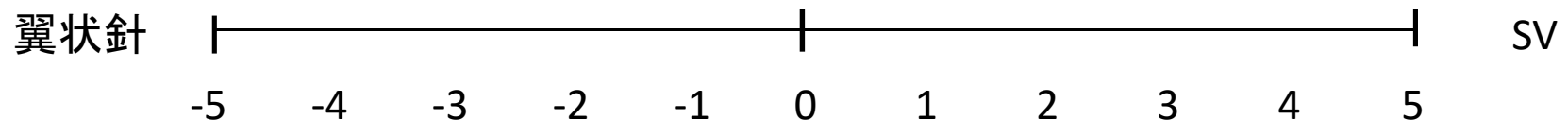
経験年数 ～10年：9名 10年～：11名

看護師：8名 臨床工学技士：12名

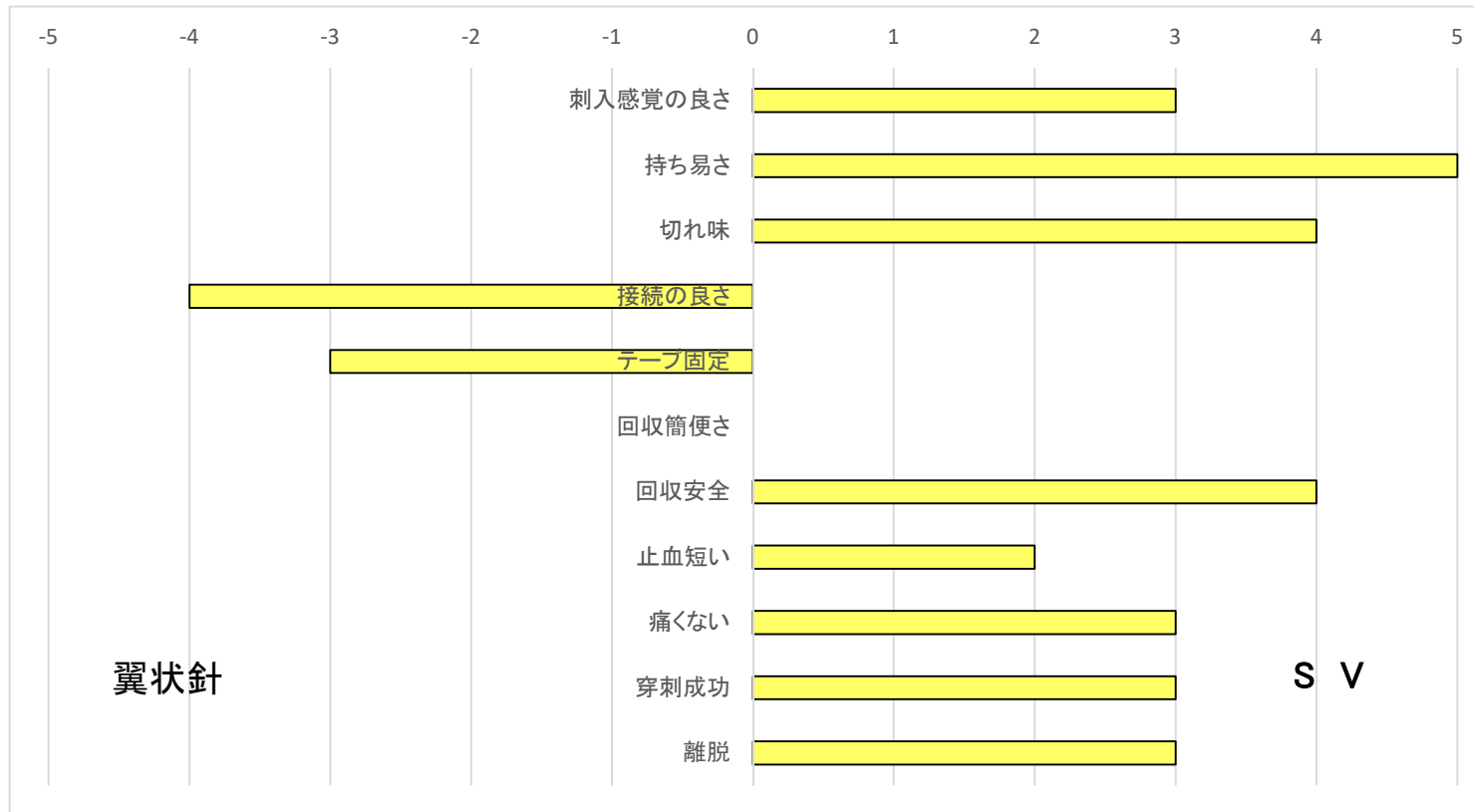
方法：翼状針からSVへ変更し、前後における使用感を以下の11項目でアンケート調査する。

1. 刺入感覚の良さ
2. 持ち易さ
3. 切れ味の良さ
4. 接続のし易さ
5. テープ固定のし易さ
6. 抜針回収の簡便さ
7. 抜針回収の安全性
8. 止血の短さ
9. 痛みの少なさ
10. 穿刺成功の度合い
11. 緊急離脱の迅速安全性

以上の項目で良いと思う方へ5段階で記入してもらう。



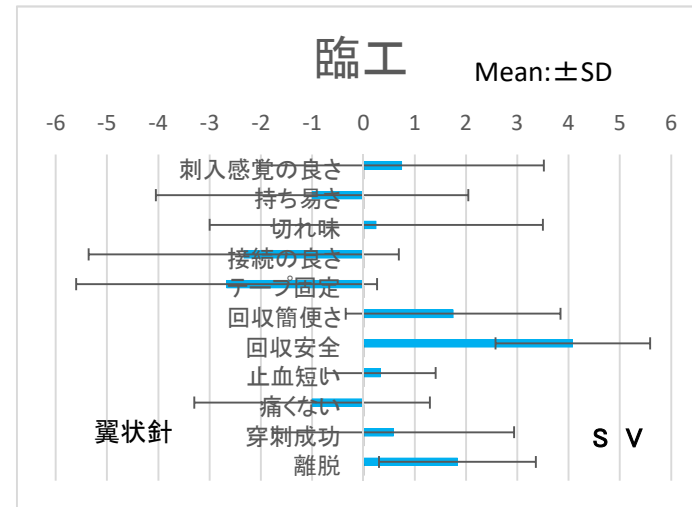
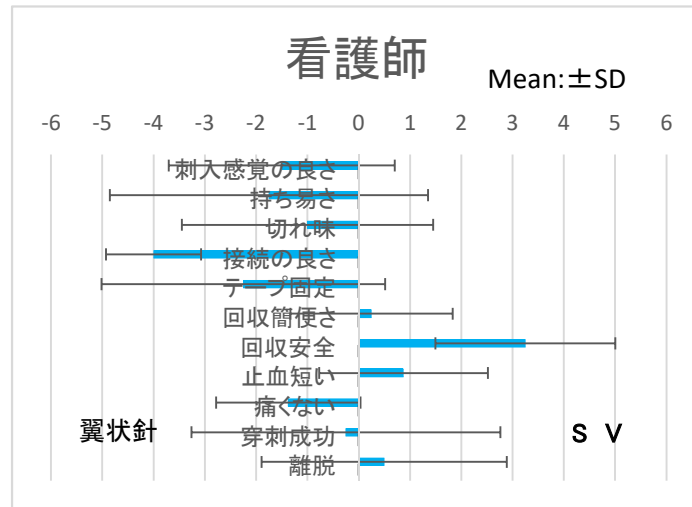
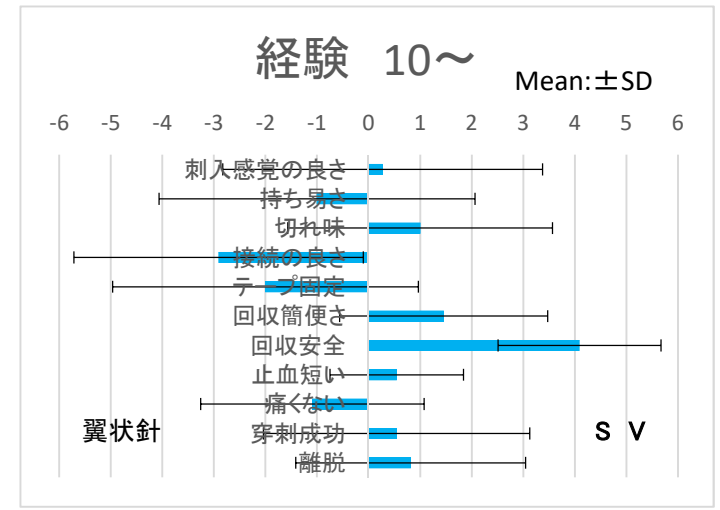
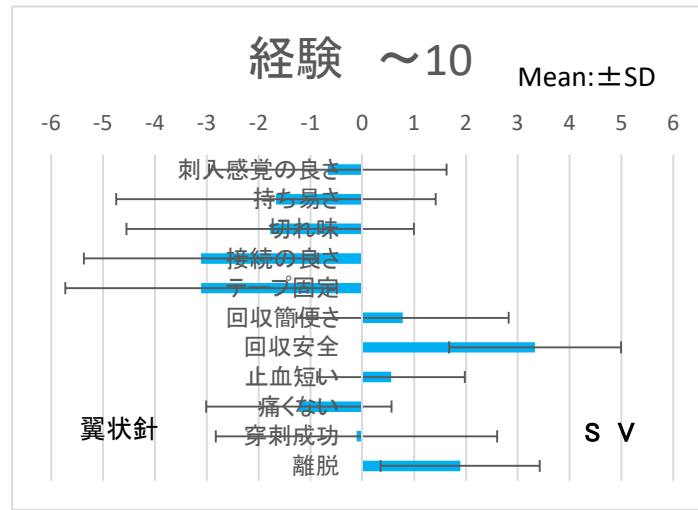
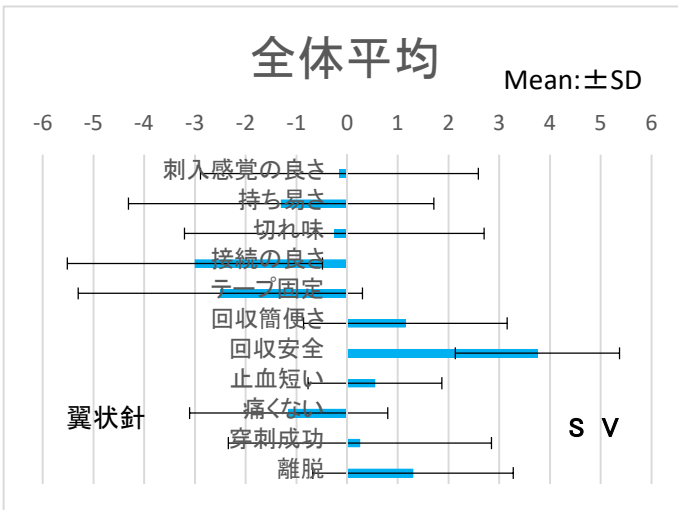
私のアンケート結果



(アンケート時の思い)

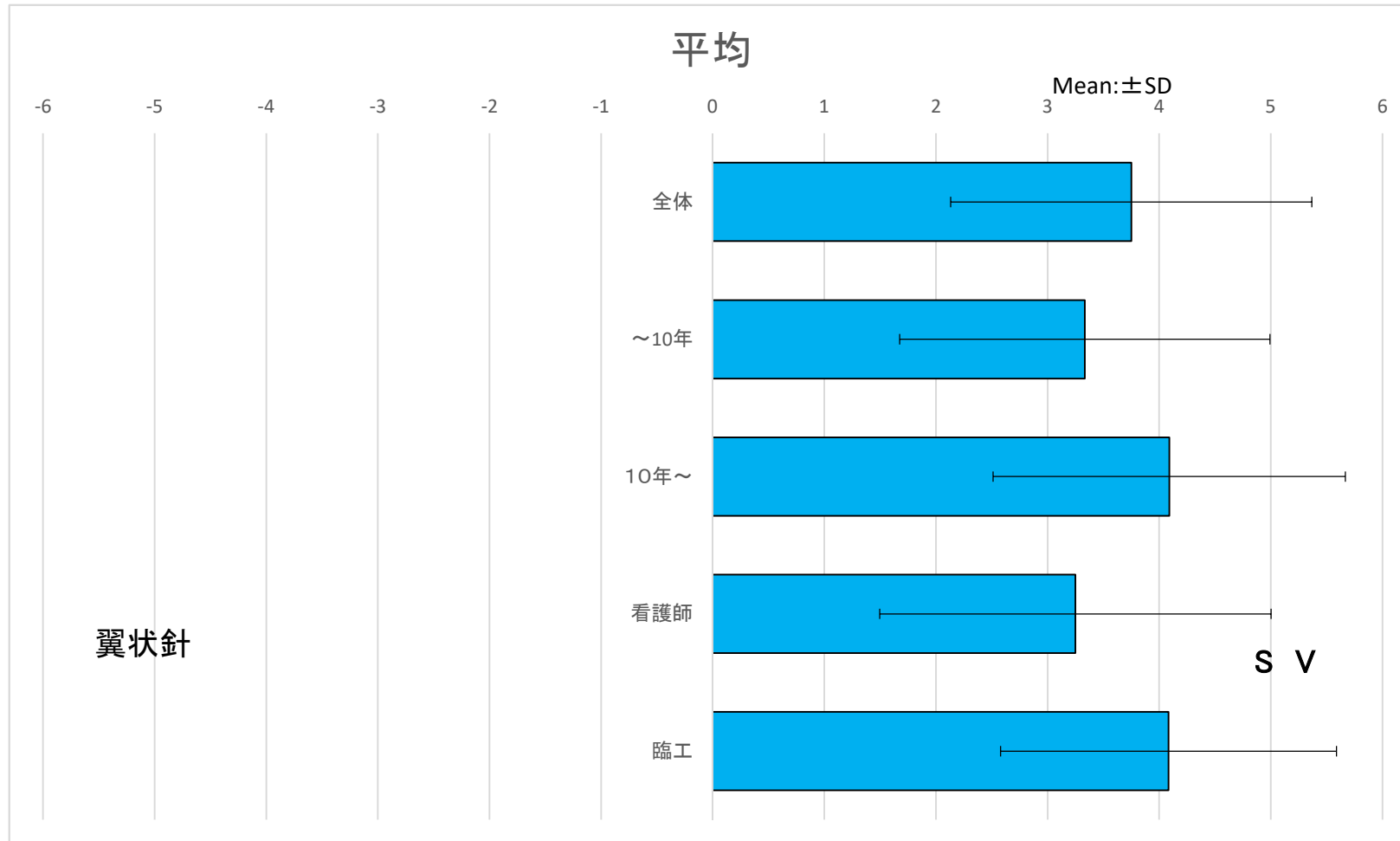
- バックカット小孔針により、刺入感覚は良くなり、止血は短く、痛く無い
- 内筒収納装置により、回収は安全
- 止血弁により離脱は簡便で安全
- 接続とテープ固定は、翼とチューブにより当然翼状針有利

私と全体の比較



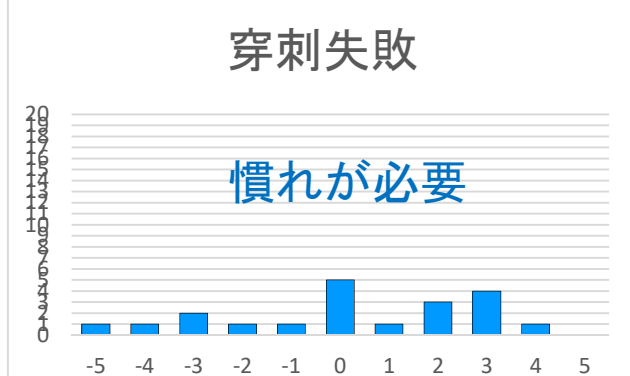
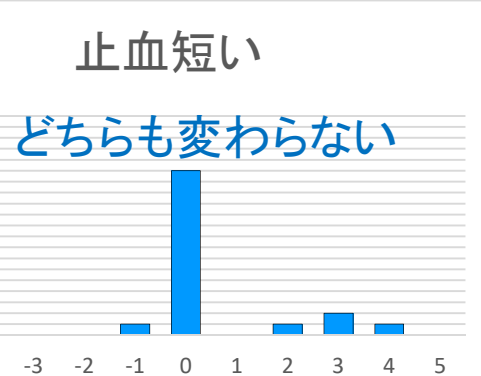
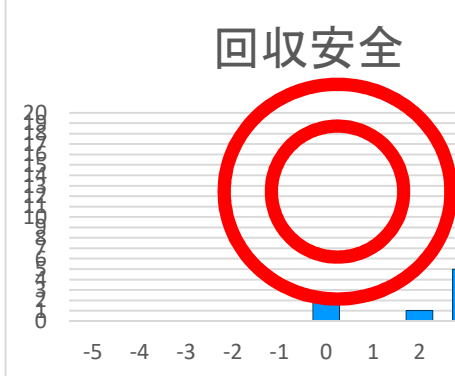
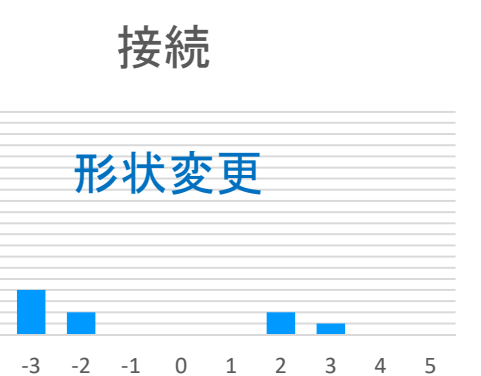
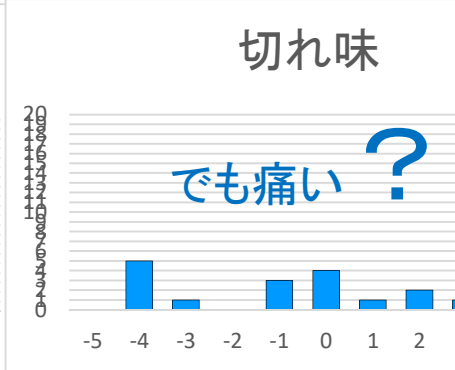
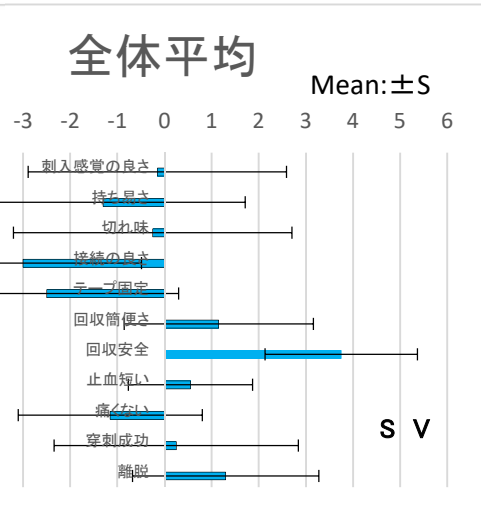
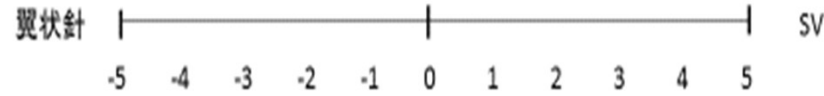
・全体と比べ、私の方がSVは良いと評価している。

針変更理由(抜針回収安全性)の結果



- ・SVは全てのスタッフから安全と評価された。
- ・針変更の**目的(安全性)**を達成した。

各項目の点数別回答数



ま と め

今回、逆濾過全自動装置の導入により、これまで苦情無く使用に慣れていた翼状針の回収対策を目的にSVを導入した。

SVは安全に使用出来るとの声が多く、業務を滞らせる事無く変更に至り、**導入は対策の目的を達成した。**

しかし、多くの改善を試み使用しているSVであるが、形状の変化や不慣れな操作に対する不評の声を聞く事ができた。今後更に使用方法改善を検討し、使い慣れ、苦情の無い針だと感じられるようにしたい。

また、これらを現在もメーカーへ改良依頼や問い合わせをしているところであり、今後それらが改善され、より理想的な針になっていく事を期待する。